

HONG KONG
VIETNAM
TAIWAN
KOREA
JAPAN

次代を担う生徒たちのための

STEM教育交流



アーテック
ブロックでアート

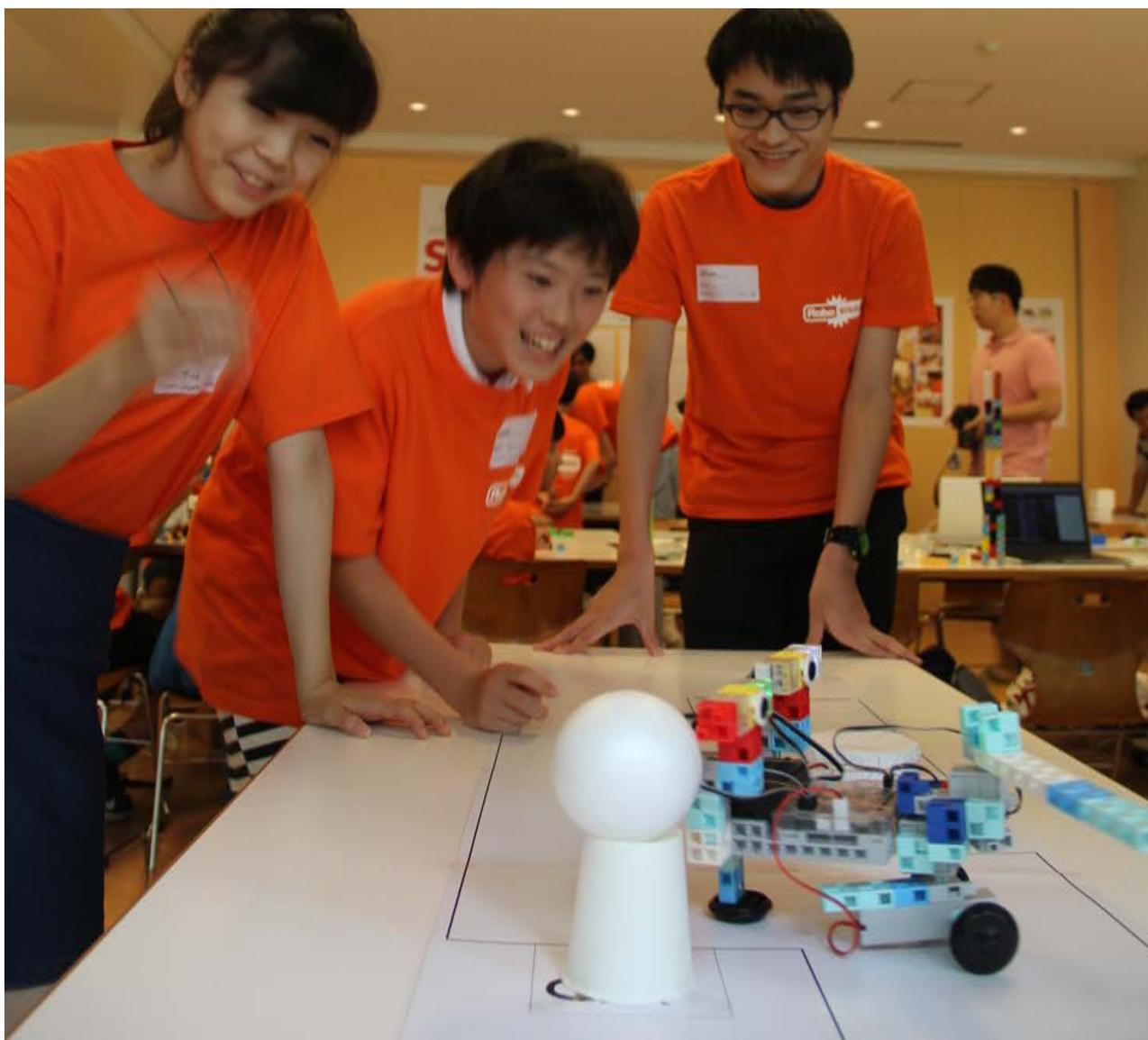


充実したコンテンツ
入り口に展示中



特製トロフィ
ブロックで作られたすこ
いトロフィ

INTERNATIONAL STEM PROJECT_4



**国際チームで課題を乗り越える
国境、年齢を超えてアイデアを共有**

2017年7月29日、30日に、同志社中学校にてアジアSTEAMキャンプが開催されました。創造的な教材づくりで有名な（株）アーテック、香港のWINSTARS、同志社中学が協力して行われた。ロボットプログラミングの教育活動が盛んな香港、台湾、ベトナム、韓国の小中学生、日本からは青翔開智中学校、同志社中学校の生徒が集まり、国際的なチーム（多国籍）を基本にして、ハンズオンな課題にチャレンジした。

当日の公用語は英語で、MCもルール説明もすべて英語で進められ、最初はぎこちない場面もあったが、終盤にはコミュニケーションが自然にとれていた。飛行機プロジェクトでは、飛行機の教材(アーテックのテキストが、かなり深い)を用いて原理を学んだ後、20センチ程度の小さな飛行機製作で、基本となる作業を学び、最後に各チームはオリジナルな設計を施した80センチを超える飛行機を設計し製作した。空気のうえに乗ったような緩やかで巨大な飛行には、感動した。アジアンハウスでは、アーテックの住居教材と、リトルビッツを組み合わせ、文化的背景の違う者同士が、未来の住居について話し合い、プロトタイプを作りプレゼンした。このプレゼンは、チームによって実に様々で、とても面白かった。ロボットコンテストでは、障害物(火災発生のビルとして)にアプローチしながら、救援していくものだった。コースを自律走行する精度、速さが勝負の分かれ目となる。瞬間のひらめき、改良にむけたディスカッション、プログラムの修正、これらのコミュニケーションを英語をベースに身振り手振り、実物も使いながら共同制作していく体験は貴重なものであった。

国境を越え課題を共同で

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。「国境を越えて、ともに知識や知恵をシェアし、一緒になってアイデアを出し合い、目の前の課題に対して解決しようと挑戦していけたらいいな」、「そんな原体験を次世代の子ども達を共有できたらいいな」…これが、国際STEM PROJECT、アジアものづくり授業PROJECTの原点である。(沼田)





Asia
STEAM Camp JAPAN
 @Doshisha Junior High School

Date: 2017.07.29 (Sat) & 07.30 (Sun)
 9:00-17:00
 Venue: Doshisha Junior High School
 89 Iwakura Osagicho Sakyo-ku,
 Kyoto-shi, Kyoto-fu 606-8558
 Hosts: Artec Co., Ltd.
 Doshisha Junior High School

2017 **7.29/30** Artec DOSHISHA Junior High School

DAY 1

International STEAM team workshops.

- Part 1: Aerodynamics and construction of planes.
- Part 2: Developing the Asian House of the Future and hot to buildit.

DAY 2

International Robotics Competition 2017



